

倉淵地区 『子どもの発達と学びをつなぐ15年間』 のガイドライン H28

- 15年間の子どもの発達と学びを見通すことで、より効率的な指導が行えるようにするとともに、小1プロブレム及び中1ギャップの解消を図る。
- それぞれの発達段階に応じた、柔軟な指導・援助ができるようにする。(フィードバックや発展的な対応)

	0~2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校 1年	中学校 2年	中学校 3年		
A 生活	①園の生活に慣れよう。	②元気に挨拶ができるようにしよう。			③いつでも、誰にでも、自分から元気よく挨拶しよう。		④「時と場」と「相手」に応じた挨拶を、自ら進んでしよう。					
		⑤「ありがとう」や「ごめんなさい」が素直に言えるようにしよう。			⑥丁寧な言葉づかいで、場に応じた話し方をしよう。		⑦「時と場」と「相手」に応じた声の大きさ、話し方で話をしよう。					
		⑧自分のことは、自分でできるようにしよう。				⑩身の回りの整理整頓をしよう。		⑪制服や体育着は、正しい着方をしよう。				
		⑨使ったものは、もとの場所に片付けよう。				⑫身の回りや教室などの整理整頓を進んでしよう。						
		⑬「うがい」や「手洗い」が、しっかりできるようにしよう。				⑭ハンカチやティッシュを持ち、「うがい」「手洗い」をしっかりして、衛生的な生活をしよう。						
		⑯家庭でルールを決めて、テレビ・ビデオ視聴をしよう。				⑰家庭でルールを決めて、テレビ・ビデオ視聴、ゲームの使用を考えよう。ゲーム機等のSNSは使用しないようにしよう。			⑱SNSは使用しないようにしよう。使用するなら夜9時前には止め、ルールを守ろう。」			
B 学習	①自分の好きな事を見つけ、楽しく遊ぼう。	②みんなと一緒に遊ぼう。	③きまりを作って遊ぼう。		④授業前に学習道具をそろえ、授業が始まるのを待つようにしよう。							
	⑤自分の気持ちを素直に言えるようにしよう。	⑥話をよく聞き、感じたことや考えたことをのびのびと表現しよう。			⑦話す人を見て、最後まで聞き、自分の考えを話そう。		⑧相手の考えを受け止め、相手を意識して自分の考えを話そう。		⑨自分の意見を持ち、発展性を意識して聞こう。			
	⑫身近な小動物や植物に親しもう。				⑬自然に親しんだり色々な行事に参加したりすることで、興味や関心を深めよう。		⑭家庭学習は、学年×10分を目安に。本をたくさん読もう。			⑯目標を持って、計画的に学習しよう。		⑰進路を考えて学習しよう。
	①遊び道具やおもちゃを貸し合い、誰とも仲良く遊べるようにしよう。				④誰とでも仲良く遊んだり勉強したりしよう。		⑤相手のことを考えて、思いやりのある行動をしよう。					
	②花や小動物を大切にしよう。		③小さい子には、やさしく接するようにしよう。		⑥自分から気持ちを伝え、わかり合える行動をしよう。			⑦お互いを認め合える行動をしよう。				
					⑨友達は、「くん」や「さん」をつけて呼ぼう。			⑧お互いを高め合える行動をしよう。				
C 思いやり					⑩相手を大切にする言葉づかいをしよう。							

『生活』、『学習』、『思いやり』の基本は、『早寝、早起き、朝ごはん』